

市  
議  
会  
報

# 大 野

№.40  
発行 大野市議会  
TEL 6-1111  
(内線 303)  
印刷 松浦印刷



## 560人が晴れの門出



1月15日は成人の日。ことし市内では560人（男325人、女235人）が晴れて大人の仲間入りをされました。

成人式会場となった市民会館では久しぶりの再会を喜び合う姿が見られました。

式典では全員で市民憲章を唱和した後、川崎市長の式辞、推井市議会議長の祝辞があり、最後に出席者全員で誓いの言葉を力強く述べ、成人の門出に決意を新たにしていました。



### 12月定例市議会

## 一般会計に1億2,017万円追加

### ——大野市基本構想は継続審査——

第184回12月定例市議会は、12月12日招集され、会期を20日までの9日間と定め、理事者から提出の議案15件を慎重に審議しました。その結果、議案第54号昭和53年度大野市歳入・歳出決算認定については、決算特別委員会を設置、委員を別掲のとおり選任し、この委員会に付託、また議案第57号大野市基本構想の策定については、総務常任委員会に付託し、慎重に審査するため、それぞれ継続審査としました。他の13議案については、原案どおり全会一致で可決・同意しました。また、市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、20日閉会しました。

### 12月定例会審議日程

- 12日 本会議（会期の決定、議案一括上程、提案理由の説明）
- 13日 休 会
- 14日 本会議（一般質問、追加議案一括上程、提案理由の説明、決算特別委員会の設置、各案件委員会付託）
- 15日～16日 休 会
- 17日 委員会（建設・産業経済常任）
- 18日 委員会（教育民生・総務常任）
- 19日 委員会（決算特別委員会）
- 20日 本会議（各委員長報告、質疑討論、採決）

## おもな案件

### ▼昭和54年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では、1億2,017万8,000円を追加して、67億4,676万9,000円となりました。補正の主なものは次のとおり。

〔歳 出〕

人件費3,496万円（職員の給与を国家公務員に準じ、昭和54年4月1日にさかのぼって引き上げを行うもの）。地下水かん養対策費70万円。社会福祉施設建設事業補助297万円（日の出善隣館ほか）。老人福祉

センター管理運営委託料100万円の追加。私立保育所委託料 470万円の追加。障害児保育振興補助82万円。地域農政推進活動事業 275万円。集落センター建設事業補助480万円(東山、医王寺)。水田高度利用協業団育成事業補助 221万円。広域米生産流通総合改善事業補助 264万円。自給飼料生産事業等補助 411万円。水田利用再編対策事業等補助 4,170万円。県単土地改良事業工事 286万円。工場誘致地区埋立工事費 1,390万円。林業労務者退職共済補助87万円。広域基幹利道法恩寺線負担金 189万円の追加。地場産業取引改善資金利子補給97万円。三番線改良事業費95万円の追加。緑橋都市下水路整備事業費52万円の追加。乾側小学校体育館改築工事 413万円の追加。南小学校校舎周辺整備事業 938万円。石油等値上げによる燃料費 882万円の追加——など。

〔歳入〕

地方交付税 7,509万円。分担金及び負担金 1,418万円。使用料及び手数料 927万円。県支出金 3,403万円——など。

▼大野市宝慶寺いこいの森設置及び管理に関する条例

大野市宝慶寺で整備が進められている宝慶寺いこいの森は、3月末で完了することになっている。この施設は国の第2次林業構造改善事業の補助を受け、市が森林総合利用施設として、51年から4ヵ年計画で整備してきたもので、キャンプ場、林間広場、総合案内所など「いこいの広場」が実現することになる。この管理、運営を大野市森林組合に委託するものである。

▼昭和54年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算

今回の補正で2,530万6,000円を追加して、13億9,738万5,000円となりました。

補正の主な内容は、国等への補助金返還金703万円、高額療養費1,826万円の増額で、これに充てる財源は繰越金である。

**監査委員(知識経験)  
西川氏の選任に同意**

西川長一氏(大正11.7.27生)  
大野市泉町16番12号

**一 般 質 問**

**学校改築について**

**阪谷小学校の改築について**

問 基本構想の中で学校教育の振興については、特に豪雪地帯という当市の立地条件を踏まえて木造校舎を鉄筋化する、また屋内体育館は、地域の社会体育振興の上からも整備を進めることになっている。そこで阪谷小学校は昭和55年度に着工したいとのことであるが、計画どおり実施出来るのか。

答 阪谷小学校の改築については、まず飲料水を確保する必要があるため、現在地下水調査を実施中である。この問題をまず解決し、55年度に着工すべく準備を進めている。南小学校校舎の継続分と同校体育館、さらに阪谷小学校建設が、55年度の国の補助割当面積の範囲内に入るので着工出来ると思う。しかし国の補助との関係もあり、一層予算獲得に努力していきたい。

**上庄小学校  
の改築について**

問 老朽化の著しい上庄小学校舎の改築については、一部校舎と体育館が国の老朽校舎の指定

が難しいことから、改築が危ぶまれていると聞かすが、現実として非常に老朽化しており、全校舎の改築を早急に実施すべきと思うが、どうか。

答 改築は57年度になると思うが、敷地等の関係もあり、一部分を残して建設を進めることは非常に難しい。総合的に改築すべく研究し、努力したい。

**西小学校体育館の改築について**

問 西小学校体育館は、東講堂は大正11年、西講堂は昭和7年に建設されたもので老朽化著しく、現在体育授業にも支障を来している。早急に改築すべきと思うが、どうか。

答 西校体育館は国の危険校舎に指定されていない。上庄小学校の改築後、順次改築していく計画を立てていきたい。なお、下庄小学校の木造校舎、森目小学校蔵生小学校等についても順次計画を立て財政とも十分にらみ合わせて改築に努力したい。

問 今の答弁では西校の体育館改築は、58年度ということになるが、どうか。また西校の校舎は市の都市計画大きな障害になっている。今後移転等を考慮に入れて体育館の改築を考えていくのか。なお現在の体育館は非常に危険な状態になっているので、早急に補修願いたいと思うが、どうか。

答 今回基本構想を提案しているが、この構想に基づいて振興計画を立てていく中で、今後の学校改築については順次計画的に実施していきたい。年度については現在の段階では何とも言明出来ない。また西校の移転等の問題は今後地区住民の皆さんと十分話し合いの上、立派な計画を立てて建設していきたい。補修は早急に実施したい。



**有終会館に更衣室の設置を**

問 有終会館に更衣室やロッカーを設置して欲しいという要望がある。来年度設置する考えはないか。

答 利用状況を調査したうえで、必要があれば設置したい。

企業誘致について

問 当市の多年の課題であった企業誘致を、現在名古屋の都築紡績との間で進められていると思うが、いつ同社と立地協定を結ぶのか。なお企業誘致も重要であるが、地場産業の振興も大きな今後の課題である。その方策についても併せて伺いたい。

答 都築紡績との工場立地協定は一両日中に結ぶ。地元繊維業界では労働力が競合するとして反対しているが、今後予想される地元産業への影響には万全の配慮をしたい。

新年度予算編成方針について

問 新年度予算編成に当たって、本年度一般会計当初予算に比べて何%の伸びを見込んでいく考えか。また市税収入の伸びはどうか。施策の重点をどこに置く考えか。

答 税収入は7%増で、地方交付税等の大きな伸びが望めない厳しい現状の中で来年度予算は10%以内の伸びを見込んでいる。出来るだけ経費の節減を図り、投資的経費の増に努力しながら、市民サービスの低下にならないよう財政運用に努めたい。

水資源問題  
北陸電力と県との協定について

問 真名川の総合開発に伴う北陸電力と県との間で、真名川の流水利用について許可した協定書の期限満了が昭和61年3月末となっている。この協定書の第6条に「許可または認定を与えた事項であっても、知事において公益上その必要があると認めるときは、その変更を命ずることが出来る」という条項がある。この許可改訂の際市はどのような申し入れをしていくのか。なお水利権は建設省にあるというが、国民の福祉を度外視したり、無視することは間違いである。市は真名川ダムが防災ダムから多目的ダムにすり

— 1 月臨時市議会 —

一般会計補正予算(1,605万円)など  
2 議案を可決・同意

第 185 回 1 月臨時市議会は 1 月 21 日招集され、会期を 1 日限りと定め、理事者から提出の議案 2 件を可決・同意しました。

議案の内容は次のとおりです。

▼昭和54年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では、1,605万8,000円を追加して、67億6,282万7,000円となりました。

補正の主な内容は、国庫補助金決定に伴う衆議院議員選挙費22万円の追加、有終南小学校周辺整備に伴う製材所移転補償費1,500万円、農地施設災害復旧費83万円である。これに充てる財源は地方交

付税1,501万円、分担金29万円、県支出金75万円である。

▼人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員の南 豊氏が1月15日をもって任期満了となったため、再推薦いたしたいと求められ、本会議において満場一致で再推薦に同意した。

南 豊 氏(大正4.9.1生)  
大野市田野第20号101番地

替えられたことなどを踏まえて、水利権を主張し、また補償等を要求していくべきと思うが、どうか。

答 水利権の問題については、北電と県との協定もあるが、真名川土地改良区連合と建設省との間で、用水の水利権の改訂が10年ごとに行われており、昭和57年がその改訂の時期である。この改訂の際には、市は用水組合ともいろいろと相談のうえ、地下水を初め、生活用水として水利権を主張していきたい。北電と県との協定で現在は北電が真名川の水16tの既定の水利権を有している。改訂の際にはこの水量を減らすべく要望していきたい。しかし水力発電には水が命であり、容易な問題ではないと思う。真名川ダムが完成するまでの経過で、防災ダムが多目的ダムに変わっていったので、北電の理解により河道維持用水として2tの水を真名川に流しているが、その交渉も相当困難を伴った経緯がある。この経過を考へても水量を規制することには相当困難性がある。水量が規制できなければ、補償を要求すべきとのことであるが、

これについても困難性がある。今後の研究課題として県とも相談のうえ対処していきたい。

下庄公民館の建設について

問 下庄公民館は昭和55年度に建設が予定されているが、過日行われた下庄地区の区長会では、下庄公民館と勤労青少年ホームを併合した建設は、絶対出来ないのではないかと憂慮されていた。果たして55年度で着工出来るのか。

答 下庄公民館の一部に勤労青少年ホームを、労働省から補助を受けて建設する計画を立てている。国等の予算がまだ確定していない時期であるので、見直しについては、明言出来る段階ではないが、恐らく国の補助が付くのではないかと考えている。国に対して強く働きかけ、予算獲得に努力し55年度に着工したい。



# 委員会活動

## ——委員長報告から——

各委員会のおもな要望・意見など次のとおり

### ●建設委員会

代替地等土地確保のための先行取得について。この問題は3月の委員長報告でも強く指摘したとおり、街路事業における物件移転用地、商店街振興策としての駐車場用地、さらに今回提案されている基本構想を推進する上での公共施設の配置に伴う用地等、山積している重要事業遂行上必要な用地の確保は常に難渋し、大きな障害となっている。これら事業を遂行するに当たって、市民は用地提供の条件に必ず代替地を要求しており、代替地確保は極めて大切であり、事業遂行する上に大きく影響する。従って市民からの情報を的確にキャッチし、土地開発公社等を十分活用するなど、土地の先行取得に積極的に当たるよう再度強く要望した。なお、下水道終末処理場用地の確保についても、一層の努力を払うよう要望した。

### ●産業経済委員会

広域基幹林道について。勝山市暮見を起点とし当市南六呂師に通ずる法恩寺線の現在の進行状況を見ると、勝山市地係の約19,000mのうち11,000mが完了済みに対し、当市は約8,000mのうち1,000mと非常な工事の遅れが見られる。早期完成を目指し、一日も早く広域基幹林道として、また自然条件を生かした観光ルートとしての役割を果たすべく、国・県に対し強力に要望すべきであるとの意見が述べられた。

### ●教育民生委員会

公的医療施設の設置については、9月の委員長報告でも強く要望したとおり、当市の最重要かつ緊急課題として、また市民の長年にわたる切実な願いとして今日に至っている。人間の真の幸福は健康

によって初めて生き「まず健康であること」が人生最大の金言であることを思うとき、医療施設の設置はもはや一刻の猶予も許されない事態になっている。せめて休日急患センターの設置だけでもというのが市民の切実な願いである。43,000全市民の切実な願いを真剣に受けとめ、地域医療協議会と運営上の問題について積極的に煮詰め、たとえ相当の出費が必要であってもこれを設置していくという強い姿勢で臨み、これが早期建設に向かって市民病院、保健センターなど将来の見通しの上で、積極的に取り組むよう強く要望した。

### ●総務委員会

陳情元大野郵便局跡地利用について。これら施設の利用について地区住民の独

## 決算特別委員会を設置

昭和53年度大野市歳入・歳出決算認定について、慎重に審議するため特別委員会を設置する。委員は次のとおり。(◎委員長 ○副委員長)

◎林 保信 ○飯岡 彦兵衛  
田原 哲也 松田 庄二  
石蔵 一郎 奥村 忠光

占化することのないよう、近隣地区の利用法についても、広く効率的な運用を図ること。なお管理、運営に当たっては地元とよく協議を行い万全を期するよう強く要望して、陳情の趣旨を了とし採択とした。

## 市民から提出された請願・陳情

採択されたもの	
件 名	提 出 者
河川上蓋設置について	春日1丁目上区長 柿本 清之助外10名
専用コート設置について	大野長生会長 山崎 次郎外5名
保育行政について	私立保育園保護者会連合会長 帰山 正信外2名
市道認定について	下掘区長 松田 直樹外38名
市道編入について	富島区長 岡崎 茂外9名
体育館改築について	有終西小学校PTA会長 赤尾 幹雄
東部公民館の建設について	有明町区長 横田 脩外16区長
市道の一部路線変更及び改良工事の促進について	中荒井町2丁目区長 葭安 光成外87名
借入資金に対する助成について	大野織物工業協同組合 理事長 斉藤 政雄
借入資金に対する助成について	福井県丸編ニット工業組合 理事長 畑岡 弘明
元大野郵便局跡地について	明倫町5区長 宇野 政雄外3名
不採択となったもの	
工場誘致について	大野織物工業協同組合 理事長 斉藤 政雄
工場誘致について	大野縫製組合 マックス外13社
企業誘致について	福井県繊維協会会長 前田 栄雄外1名
企業誘致について	勝山市勝山衣料(株) 代表取締役 上杉 肇外6社
企業誘致について	福井県縫製産業協同組合 理事長 渡辺 誠